

RF-121 転てつ器標識

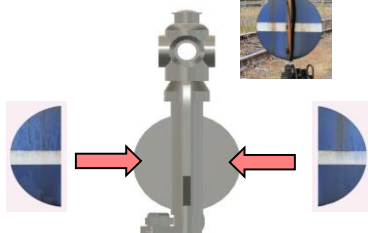
RF-122 てこ付転てつ器標識 組み立て説明書

本製品は、付属のシールを貼ることでカンテラ部非点灯の状態を組み立てることが可能ですが、カンテラ部にレンズ表現を施したり、別売のRF-125点灯化キットを用いて夜間照明を点灯することが可能となります。

1. 付属シールの貼り付け（ハサミ等で外周をカットして使用）

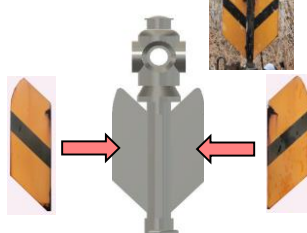
定位側

（裏表同一）



反位側

（裏表同一）



2. カンテラ部のレンズ表現

カンテラ部のレンズ穴にバリがあることがありますのであらかじめ0.8mmドリルを通しておきます。

破損注意

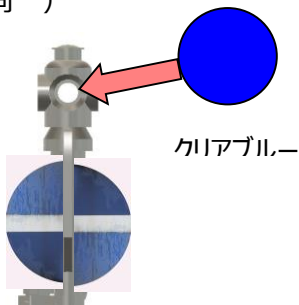


レンズ穴に透明樹脂（グロスポリマーメEDIUMやUVレジ、エポキシ樹脂など）を少量充填し、表面張力でレンズ形状を作ります。

乾燥後、プラスチック用塗料のクリア色でそれぞれの色に着色します。

定位側

（裏表同一）



反位側

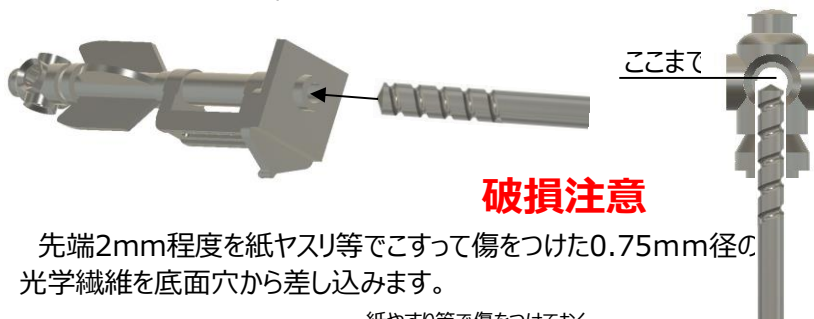
（裏表同一）



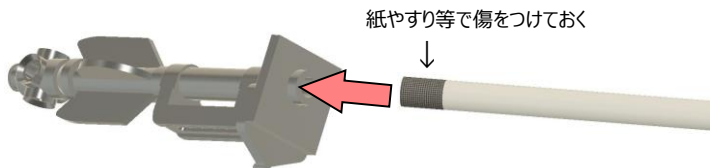
3. 点灯化

点灯化する場合、上記「カンテラ部のレンズ表現」で透明樹脂を充填する前に以下の加工を済ませておく必要があります。ご注意ください。

底面からシャフト内のバリを取り除くため0.8mmドリルを通します。カンテラ部レンズ穴までドリル先端が達したらそれ以上はドリルを進めないでください。



先端2mm程度を紙ヤスリ等でこすって傷をつけた0.75mm径の光学繊維を底面穴から差し込みます。



点灯テストを行い、カンテラ部のレンズ穴から光が出ることを確認します。



問題なければ光学繊維を接着します。
(木工用ボンド推奨)

4.ご注意

- 1.本製品は細かい部分があり、特にカンテラ部が折れやすくなっています。各作業時には破損には十分お気を付けてください。
- 2.本製品は形状を再現しただけのダミー製品です。標識部や一部製品のためこの部は稼働しませんのでご了承ください。
- 3.点灯化する場合、光学繊維の特性により上面方向に光が透過することがあります。光学繊維の断面を黒やシルバーで塗装したりカンテラ部を中心に本体を黒塗装することである程度は目立たなく出来ますが、完全には防げませんのでご了承ください。